株主の皆様へ 1
事業の概況（連結） 2
中間連結貸借対照表 6
中間連結損益計算書／中間連結キャッシュ・フロー計算書／中間連結株主資本等変動計算書 7
中間貸借対照表（単独） 8
中間損益計算書（単独）／中間株主資本等変動計算書（単独） 9
業績の推移／連結子会社 10
役員／従業員／主要な事業所 11
新製品紹介 12
トピックス 14

株主の皆様へ

事業の概況（連結）

当中間期におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加などから景気は回復基調にあるものの、製造業を取り巻く環境は、原油価格や原材料価格の上昇により、厳しい状況にあります。

このような事業環境下、当社グループは、2008年度（2009年３月期）を最終年度とする中期経営計画「DASH！08」を達成するために、菓子需要を喚起する新規性の高い商品開発や「健康」「海外」「ジェネリック医薬品」の重点分野を中心に戦略投資を行うなど、全グループ一丸となって取り組んでまいりました。

この結果、当中間期における連結売上高は1,870億87百万円（前年同期比1.7%増）、連結中間純利益は24億円（同

フード＆ヘルスケア事業の連結売上高は1,338億96百万円（前年同期比0.9%増）となりました。なお、当中間期より、明治制果（上海）有限公司および明治制果食品工業（上海）有限公司を連結子会社としております。

主力の菓子事業につきましては、引き続き「大人向け市場」の活性化を図り、機能性のみならず高級・風味などをキーワードに付加価値の高い商品を発売する一方、「おいしい・楽しい」という菓子本来の価値を訴求する商品の発売や各カテゴリーの充実を図った結果、前年同期の売上を上回り過去最高となりました。

品目別では、チョコレートは、母の日に関連する販促活動により主力の「ミルクチョコレート」が増売となったほか、「アーモンドチョコレート」「マカダミアチョコレート」などが好調に推移しましたが、「チョコレート効果」の減売が響き、全体では減収となりました。ガムは、発売10周年に伴い「キシリッシュ」を全品リニューアルし、テレビＣＭおよび積極的な販促活動を展開した結果、大幅に伸長しま

した。キャンデーは、好調なグミ市場にあって、主力の「果汁グミ」「ぷるん」が大幅に伸長しました。

健康事業につきましては、店頭での露出拡大と機能情報発信による主力ブランドの拡大・育成に取り組みましたが、前年同期並みの売上となりました。

品目別では、「アミノコラーゲン」は、コラーゲン市場の競争激化により減売を余儀なくされました。「ザバス」は、“水に溶ける”を追求した「ザバスアクアプロテイン」が好調に推移するとともに、プロサ

明治製菓シンガポール社は、主力の「ヤンヤン」「ハローパンダ」が現地市場および近隣諸国で順調に伸長するとともに、「プッカ」の製造・販売も開始し、大幅な増収となりました。一方、米国スタウファー・ビスケット社は、競争激化により減収となりました。また、新たに連結子会社とした明治制果（上海）有限公司は、売上が順調に拡大しております。

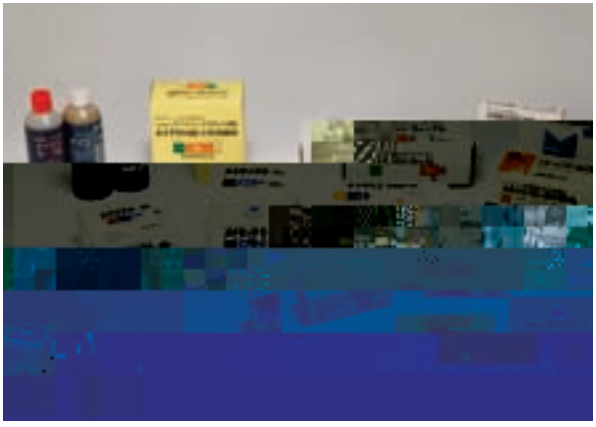
以上の結果、連結子会社全体としては、前年同期並みの売上を確保しました。

■健康事業（一般用医薬品含む）・業務用食材事業主要製品 ――
アミノコラーゲン、ザバス、カシス-ｉ、ローラ、パーフェクトプラス、プロテインダイエット、GF2顆粒、嗜好飲料（テオブロ、ミルクココア、ハイレモンドリンクほか）、レトルトカレー（銀座カリー、銀座ハヤシ、銀座カリー上･ビーフほか）、まるごと野菜、調理食品（JALスープ、銀座スープほか）、農産缶詰
イソジンうがい薬、イソジンのどフレッシュF、解熱鎮痛薬バイエルアスピリン、明治Gトローチ、かぜ薬ヘルビックS顆粒、ミニドリンク剤活蔘28ほか
業務用菓子・食品材料、砂糖、糖化製品ほか

薬品事業の連結売上高は516億63百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

医療用医薬品につきましては、主力の抗菌薬「メイアクト」が、きめ細かな学術普及活動と積極的な営業活動を展開した結果、大幅な増売となりました。また、外用消毒剤「イソジン」、抗菌薬「ホスミシン」「ハベカシン」は減売を余儀なくされましたが、抗うつ薬「デプロメール」、アレルギー性疾患治療薬「エバステル」は好調に推移しました。ジェネリック医薬品は、抗菌薬「バンコマイシンMEEK」の大幅な増売に加え、昨年７月以降に発売した６製品、および本年７月に新たに発売した抗精神病薬「リスペリドンMEEK」等５製品の売上が寄与し、大幅に伸長しました。

農薬は、主力のいもち病防除剤「オリゼメート」が、いもち病の発生が少なかったこと、およびいもち病耐性稲の普及により、前年同期を下回りました。また、動物薬は、コンパニオンアニマル用薬では、鎮静・鎮痛剤の販売ライセンス返還により減売を余儀なくされましたが、家畜用薬および水産用薬がともに順調に推移し、前年同期並みの売上を確保しました。



薬品事業

海外事業につきましては、主力の「メイアクト」が発売国の増加等により好調に売上を伸ばし、加えて抗菌薬「ミオカマイシン」「メデマイシン」「メイセリン」が積極的な営業活動により大幅な増売となり、順調に推移しました。

連結子会社の業績につきましては、国内では、北里薬品産業株式会社は、はしかの流行により麻しんおよびMRワクチンが大幅な増売となり、また、医療ニーズの高まりから販売再開となった日本脳炎ワクチンの

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

（注）	１株当たりの中間純利益	６円33銭	２円23銭

（備考） 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

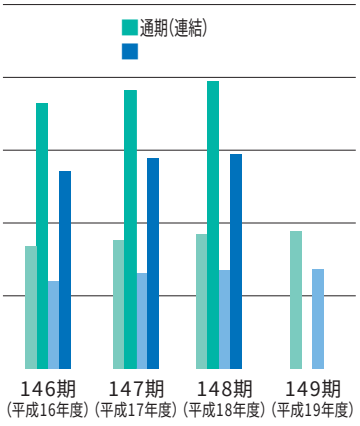
科目	当中間期（平成19年４月１日から平成19年９月30日まで）	前中間期（平成18年４月１日から平成18年９月30日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,120	4,129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,059	△ 8,639
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,071	△ 2,846
現金および現金同等物に係る換算差額	△ 14	△ 71
現金および現金同等物の増減額（減少：△）	△ 7,024	△ 7,427
現金および現金同等物の期首残高	14,513	18,755
新規連結による現金および現金同等物増加額	443	2
現金および現金同等物の中間期末残高	7,932	11,330

中間貸借対照表（単独）

（単位：百万円）

（注）1. 有形固定資産の減価償却累計額　200,883百万円　198,427百万円
2. 受取手形割引高

業績の推移



株式会社明治フードマテリア
道南食品株式会社
蔵王食品株式会社
株式会社ロンド
明治産業株式会社
明治チューインガム株式会社
株式会社アイスクリンテカ
岡山県食品株式会社
四国明治株式会社
太洋食品株式会社
株式会社明治スポーツプラザ
北里薬品産業株式会社
Meiji Seika (Singapore) Pte. Ltd.(シンガポール)
Cecilia Confectionery Pte.Ltd.(シンガポール)
Five Stars Dairy Ingredients Pte.Ltd.(シンガポール)
D.F.Stauffer Biscuit Co., Inc.(米国)
Laguna Cookie Co., Inc.(米国)
明治制果(上海)有限公司(中国)
明治制果食品工業(上海)有限公司(中国)
P.T. Meiji Indonesian Pharmaceutical Industries(インドネシア)
Thai Meiji Pharmaceutical Co., Ltd.(タイ)
Tedec-Meiji Farma S.A.(スペイン)
Mabo Farma S.A.(スペイン)
Meiji Seika Europe B.V.(オランダ)

(備考)当中間期の当社グループの連結範囲は、上記連結子会社24社のほかに、持分法適用会社が2社あります。

役　　員

（平成19年9月30日現在）

（平成19年9月30日現在）

東京都中央区京橋二丁目4番16号

●銀座シチュウホワイト

銀座ブランドから洋食屋の白いシチュウが誕生。生クリーム仕上げのなめらかなソースにからまる、やわらかな鶏もも肉は格別です。本格洋食の味わいが実感できます。

●テオブロココアP-800

厳選したカカオ豆と当社が誇る高度な技術を駆使し、他にはない高濃度ポリフェノールを実しM瘀于눱휘亯親犽暹瀁４

「キシリッシュ」発売から10周年（1997～2007）

キシリッシュガムは本年度で発売10周年を迎えました。発売以来、戦略テーマ商品として取り組んできた結果、市場シェアは年々拡大し、本年度には15%に迫る勢いです。今や、国内のガム市場において存在感のあるブランドに成長しました。

本年２月に発売した「ガラナミント」と「ローズヒップミント」は、新機軸のコンセプト「モテ息」を打ち出し、大きな話題性とトライアル購入を獲得しました。

また、本年５月に「10周年記念商品」として期間限定で発売した「プラチナミント」は、ガムの中に本物のプラチナを練りこんだ非常にユニークな商品で、味はシャルドネ風味と発売10周年のお祝いにふさわしい商品としてお客様に好評でした。

さらに、本年８月には全品リニューアルを実施し、パッケージ・品質・広告タレントを一新し、ブランド強化に取り組みました。パッケージはロゴデザインを見直し、洗練され

株主メモ

〈お問い合わせ先〉
〒104－8002
東京都中央区京橋二丁目４番16号
電話（03）3272－6511（代表）